

■英国：E.ON 社、世界最大の沖合風力プロジェクトへの出資を決定

独経済紙（2009年4月24日）によると、独 E.ON 社は、アブダビの Masdar 社が主体となって英国沖で計画している世界最大級の沖合風力、ロンドン・アレー・プロジェクト（100万 kW）への出資を決定した。デンマークの Dong 社も出資を決定しており、これによりプロジェクトを推進する条件が整った。E.ON 社は石油とガスの価格が低下したことや、風力タービンの価格が高騰したために、投資の採算性などを疑問視していた。しかし、英国政府が同国の RPS 制度において沖合風力の環境価値（ROC）を 1.5 倍カウントすることを決定したこと、その後、さらにそれを 2 倍カウントに引き上げる案を発表したことが、今回の E.ON 社の決定に至ったと見られている。